

# 気仙沼高等学校

校訓 究理創造 和親協同 至誠励業



## 1 基本データ

創立：平成30年  
課程・学科：全日制課程・普通科  
生徒数：588名  
所在地：〒988-0051  
気仙沼市常楽130  
TEL：0226-24-3400  
FAX：0226-24-3408

ホームページアドレス：  
<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp>  
電子メールアドレス：  
kesennuma-h@od.myswan.ed.jp  
主な交通機関：  
JR 気仙沼線BRT（高速バス輸送システム）で  
「不動の沢」下車 徒歩10分

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

#### 飛翔の翼 世界へと

勉強、部活動、学校行事、交流事業など、日々あらゆる場面を通して、21世紀を生き抜く力を確実に身につけ、世界を舞台に活躍する人材を育てます。

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と、大正12年に町立実科女学校として開校した旧鼎が浦高校が、平成17年4月に再編統合され、さらに平成30年度には気仙沼西高校との統合を経て開校した学校です。3つの学校の80年に及ぶ良き伝統を継承し、活力ある教育活動や先進的な取り組みを展開して、地域の期待にこたえられる学校づくりを進めます。大学進学を中心とした多様な進路の達成に向けた学習指導(45分7時間授業)や部活動の奨励を行っています。また、国際交流・地域文化交流に積極的に取り組み、英語教育の充実を図りました。震災後は、支援事業を契機として他県の高校や各種団体との交流活動を積極的に行い、平成28年度より令和2年度まで文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、令和3年度からはSGHネットワーク校として、海を素材とするグローバルリテラシーの育成を目指しています(平成30年度ESD大賞文部科学大臣賞受賞)。

### (2) 教育方針

- I 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の育成に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
- II 心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
- III 地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

### (3) 教育課程の特色

本校の教育課程は、一人一人の進路目標を第一に考えた教育課程です。大学入試制度の変更にも十分対応しています。1年生は全クラス共通の授業で、学習の基礎・基本をしっかりとし身につけます。2年生は、創造人文類型、創造理数類型の2類型に分かれて学習しています。創造人文類型は国語で、創造理数類型は理科で単位数を増やしています。また、両類型とも課題研究で課題解決型学習に多く取り組みます。3年生は、具体的な進路希望に応じた科目を選択し、学習します。

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事予定は以下のとおりです。

- 4月 生徒会入会式、部紹介
- 5月 生徒総会、高校総体壮行式
- 7月 球技大会・運動祭  
総合的な探究の時間最終発表会
- 8月 文化祭
- 9月 台湾研修(2年)
- 11月 生徒総会
- 12月 修学旅行(2年)
- 1月 地域社会研究・課題研究・総合的な探究の時間全体発表会

運動部は13部、文化部は15部あり、毎日質の高い活動が展開されます。令和7年度は、フェンシング部が全国高等学校総合体育大会男子学校対抗、個人対抗男子フルール出場、第50回全国高校選抜大会では男女とも団体フルール出場という結果を残すなど、全国屈指の強豪です。文化部では、文芸部とマンドリン部が第49回全国高等学校総合文化祭に参加しました。また、文芸部は第20回全国高校生短歌大会(短歌甲子園2025)団体戦出場、第40回全国高等学校文芸コンクール詩部門優秀賞を受賞しました。調理部は、高校生地産地消お弁当コンテスト(宮城県主催)で2作品が優秀賞、うち1作品はWEB投票特別賞を受賞し、ともに商品化されました。学校行事はいずれも生徒主体で運営され、笑顔と活気に満ちています。

### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	35	40	37
国公立短大	1	1	2
私立大学	84	75	89
私立短大	4	11	2
専各学校	53	40	51
就職	20	19	17
その他	4	12	8
卒業生計	201	198	206

主な進路先(令和8年3月卒業生)、  
( )内は人数 (1)は省略。

#### <国公立大学>

弘前大学(2)、岩手大学(6)、宮城教育大学(5)、秋田大学、山形大学(4)、福島大学(2)、茨城大学(2)、筑波大学、埼玉大学(2)、東京学芸大学、横浜国立大学、新潟大学、金沢大学、釧路公立大学、岩手県立大学(2)、宮城大学(2)、山口県立大学、

#### <私立大学>

慶應義塾大学、明治大学、青山学院大学、中央大学(2)、法政大学、学習院大学(2)、成蹊大学(2)、明治学院大学(2)、獨協大学、國學院大学、駒澤大学、東京電機大学、東海大学、帝京大学(2)、国士舘大学、日本女子体育大学、岩手医科大学、東北学院大学(11)、東北福祉大学(4)、東北医科薬科大学(3)、東北工業大学(4)、宮城学院女子大学(3)、東北文化学園大学、石巻専修大学(3)、仙台大学、東北芸術工科大学(2) 他

#### <専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(9)、石巻赤十字看護専門学校(2)、委員会看護専門学校(2)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(6)、東北電子専門学校(3) 他

#### <就職>

国家公務員一般事務(5)、裁判所職員一般職、宮城県職員小中学校事務、宮城県警察官、仙台市職事務員、石巻市職員事務、気仙沼市職員、気仙沼信用金庫 他

### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

## 運動部・文化部とも 今年も大活躍!

#### ① フェンシング部

フェンシング部は令和7年度全国高等学校総合体育大会で男子学校対抗フルーレ、個人対抗男子フルーレに出場しました。残念ながら団体は三回戦敗退、個人はベスト32にとどまりましたが、貴重な経験となったようです。また、昨年度末には長崎県島原市で開催された第50回全国高等学校選抜フェンシング大会に男女とも団体フルーレで出場しています。



#### ② マンドリン部

マンドリン部は第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文2025)に、器楽・管弦楽部門の県代表として出場しました。ここ数年連続して県代表となっており、今年度も7月末に秋田県で開催される第49回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026)に出場します。また、大阪府吹田市で開催される全国高校ギター・マンドリン音楽コンクールに、主催団体録音審査を通過し、出場することも決定しました。



#### ③ 文芸部

文芸部も近年めざましい活躍を見せている部活のひとつです。昨年度は第20回全国高校生短歌大会(短歌甲子園2025)5年連続14回目の出場を果たし、第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文2025)にも参加しました。さらに、第40回全国高等学校文芸コンクールで優秀賞を受賞する生徒や入選する生徒を出しています。



#### ④ 調理部

調理部は宮城県主催「高校生地産地消お弁当コンテスト」に毎年複数の作品を応募し、上位入賞を続けています。令和7年度も「うまい!と叫ぼう!!気仙沼イタリアン弁当」と「さんまいね!五感で感じるゆず御膳」がともに優秀賞を受賞、イタリアン弁当はWE B投票特別賞も獲得しました。2つのお弁当は令和8年2月に期間限定発売され、販売の様子はマスコミにも取り上げられました。



#### (2) 主な学校行事

## 球技大会・運動祭

7月上旬に、2日間にわたって行われます。令和7年度からこれまで10月に実施していました運動祭(運動会的行事)と合わせ、気仙沼市総合体育館(ケー・ウェーブ)の実施になりました。クラスで一致団結し、楽しもうに競技を行う姿が印象的です。



## 気高祭

毎年8月最終金・土曜日に開催されます。文化部各部の発表・展示、ビブリオバトル、動画コンテスト等、充実した企画が行われます。ハイクオリティな文化部の発表・展示や、工夫が凝らされたクラス動画を全校生徒が楽しめます。



## 探究活動発表会

本校では1学年「地域社会研究」2学年「課題研究」全学年「総合的な探究の時間」と、生徒全員が探究学習に取り組んでいます。その成果を7月と1月に公開で発表しています。アドバイザーとして大学の先生方や地域のNPO法人の皆さんをお招きし、探究の成果を発表します。



#### (3) 学校制服紹介



2005年の統合に伴い、スーツタイプの男子制服を制定しました。女子は、長年地元で支持されてきた旧鼎が浦高校の制服デザインを引き継いでいます。また、女子生徒向けスラックスも導入しています。

## 4 在校生からのメッセージ

高校は市内外の生徒が集まるため新たな友人から新たな学びを得ることができる場所です。勉強や部活動、行事は中学よりも色々な挑戦ができるので興味があることには積極的に挑戦して楽しい学校生活を送ってください。

生徒会長 小松 愛(3年)



気仙沼高校では、多くの挑戦を通して自分自身の成長や貴重な経験に繋げることができます。伝統の「三大行事」では、各クラスが一丸となって優勝を目指して全力で挑むため、毎年最高の盛り上がりを見せます。そして、かけがえない思い出になります。新しく出会う仲間と手を取り合い、悔いのない高校生活を送りましょう!

生徒会副会長 三浦 日舞莉(3年)